◇ 模擬講義のテーマ ◇
「環境法の役割」

◇《設問１》（模擬講義の要点整理）の解答例 ◇
環境法とは、良い環境を守るために定められている様々な法律全体を指す言葉である。環境法は、人間の活動が原因で環境が悪化し、人々の生命・健康などに重大な悪影響が出た公害などをきっかけに作られた。以前は公害法の時代だったが、公害以外の環境問題も発生し、環境悪化の事前回避が中心の環境法の時代になった。環境法は、世の中の人々の行動を環境への負荷が小さい方向へ誘導するという役割を果たすことが期待されている。（199 字）

※キーワード
環境法、公害、事前回避、環境への負荷、誘導

◇《設問２》の論題と評価の視点 ◇
〔論題〕
環境に大きな負荷を与えていると思う人間の行動の身近な具体例を挙げ、その行動をどのように変化させれば環境への負荷を今よりも小さくできると思うかを 600 字以内で説明しなさい。

〔評価の視点〕
・環境に大きな負荷を与えていると思う人間の行動の身近な具体例に言及していない場合には得点率 20％を基準とします。
・講義内で例示した「ガソリン（等の化石燃料）で走る自家用車による移動」を具体例としている場合は得点率 40％を基準とします。
・具体例を挙げているが、単に「その行動をやめる」としている場合は得点率 40％を基準とします。
・設問文中の「身近な」という言葉は、「自分の身の回りで具体例を考えてほしい」というメッセージであり、結果的に身近とは言えないような内容であっても、環境に大きな負荷を与えている人間の行動の具体例として妥当であればプラス評価とします。